

「第2期千葉県教育振興基本計画」素案の概要

第1章 計画策定の基本的な考え方

第1節 計画策定の趣旨

- 千葉県では、平成22年3月に本県教育の10年後の姿を展望し、5年間の重点施策と取組の方向性を示した「みんなで取り組む『教育立県ちば』プラン」(第1期計画)を策定。
- 現行計画の目指す姿を達成するためには、学力向上、道徳教育、いじめ防止対策、教員の資質向上、幼児・家庭教育など、継続して取り組んでいかなければならない課題が存在。
- 社会的・職業的自立を目指す力や社会のグローバル化に対応した資質の育成、コミュニティとの協働など、社会状況の変化に対応した課題への対応も必要。
- 第1期計画で描いた10年後の姿を達成するための第2期計画として本計画を策定。

第2節 計画の性格

- 教育基本法第17条第2項で規定された、千葉県における教育の振興のための施策に関する基本的な計画。

第3節 計画の期間

平成27～31年度の5か年間

第4節 策定のプロセス

- 平成22年3月に策定した「第1期計画」を基盤。
- 「光り輝く『教育立県ちば』を実現する有識者会議」の意見を踏まえるとともに、教育関係者、関係団体からの意見聴取、パブリックコメントなど県民の声を反映。
- 国の第2期教育振興基本計画を参酌。

第2章 千葉県教育のめざす姿

第1節 千葉県教育をめぐる現状

- (1) 人口減少・少子高齢化 (2) 安全・安心の構築 (3) 社会のグローバル化
- (4) 地域コミュニティの形成 (5) 情報化(デジタル化)の進展 (6) 雇用環境の変容と社会的・経済的格差の進行

第2節 第1期計画の検証と今後の重要課題

- 1 第1期計画の検証
 - おおむね順調にすすんでいるが、児童生徒の学力向上施策の更なる充実が必要。
- 2 今後の重要課題
 - (1) 確かな学力の育成 (2) 豊かな心の育成 (3) 健やかな体の育成 (4) キャリア教育の充実
 - (5) グローバル化に対応する能力の育成 (6) いじめ防止対策の推進 (7) 幼児教育の充実
 - (8) 地域コミュニティの形成 (9) 学びのセーフティネットの構築 (10) 特別支援教育の推進

第3節 千葉県教育のめざす姿

- 1 10年後の子どもたち、家庭、学校、地域の姿
 - 現行計画及び県総合計画との整合性を図り、16項目を記載。
- 2 基本目標
 - I 志を持ち、失敗を恐れずチャレンジする人材を育てる ～ 夢・チャレンジプロジェクト
 - II ちばのポテンシャル(潜在能力)を生かした教育立県の土台づくり ～ 元気プロジェクト
 - III 教育の原点としての家庭の力を高め、人づくりのために力をつなげる ～ チームスピリットプロジェクト

第4節 基本的な取組方針

「ふれる」、「かかわる」、そして「つながる」

第3章 施策の方向と5年間に実施する重点的な取組(詳細は別紙)

プロジェクトI 志を持ち、失敗を恐れずチャレンジする人材を育てる

- 千葉県の子どもたちに育てたい資質について、知・徳・体・キャリア教育・グローバル人材の育成など5つの施策を提示。

プロジェクトII ちばのポテンシャル(潜在能力)を生かした教育立県の土台づくり

- 「教育立県ちば」実現のための教育環境、教育の基盤づくりについて、活力ある学校・教育力向上・いじめ防止など9つの施策を提示。

プロジェクトIII 教育の原点としての家庭の力を高め、人づくりのために力をつなげる

- 家庭・学校・地域の連携によるコミュニティ形成と学びセーフティネットについて、家庭教育支援など3つの施策を提示。

第4章 計画の推進に当たって

第1節 県民一体となって取り組む体制づくり

- 県民意見の聴取・反映など教育委員会活動の活性化、他部局や学校・家庭・地域など多様な主体との連携の推進。

- 1 これからの教育行政
- 2 多様な主体との連携と協働

第2節 計画の進行管理

- 重点施策推進計画(工程表)の策定、毎年度の点検・評価の実施、予算の効率的な活用。

- 1 各年度における取組
- 2 各年度における点検・評価
- 3 教育投資の充実

千葉県教育振興基本計画 ー 施策体系の比較

< 現行計画 >

< 第2期計画(素案) >

I 過去と未来をつなぎ世界にはばたく人材を育てる『夢・チャレンジプロジェクト』

- 1 志を持って、失敗を恐れずチャレンジする人材を育てる
 - (1) 確かな学力の向上
 - (2) 夢をはぐくむ教育の推進
 - (3) 子どもや若者の社会参加の促進
 - (4) 環境を守るために行動できるひとづくりの推進
- 2 歴史と伝統文化に親しみ、郷土と国を愛する心を育てる
 - (1) 郷土と国の歴史や伝統文化等について学ぶ教育の推進
 - (2) 文化に触れ、親しむ環境づくり
 - (3) 文化財の保存・継承
- 3 異文化を理解し、国際的コミュニケーション力のある真の国際人を育てる
 - (1) 多様な文化を認め合う国際社会の担い手の育成
 - (2) 外国語教育の充実
 - (3) 外国人児童生徒等の受入れ体制の整備

II ちばのポテンシャル(潜在能力)を生かした教育立県の土台づくり『元氣プロジェクト』

- 1 読書県「ちば」を推進する
 - (1) 家庭や地域における子どもの読書活動の支援
 - (2) 学校等における読書活動の推進
 - (3) 図書館における読書活動の充実
- 2 多様な自然、産業、人材などを生かした体験活動を推進する
 - (1) 体験活動を通じた心の教育の推進
 - (2) ちばのフィールドを活用した体験活動等の推進
 - (3) 実践、実習、職場体験に重点をおいたキャリア教育の推進
- 3 教育現場を重視し、教職員の質と教育力の高さとでトップを目指す
 - (1) 熱意あふれる人間性豊かな教員の採用
 - (2) 信頼される質の高い教員の育成
 - (3) 少人数教育の推進
 - (4) 教職員の負担軽減と学校問題解決のための支援
- 4 道徳性を高める実践的人間教育を推進する
 - (1) 道徳性、規範意識・社会貢献態度の育成
 - (2) 自他ともに尊重し命を大切にす心の教育の推進
 - (3) 豊かな人間関係づくりのためのコミュニケーション能力の育成
- 5 フェアプレーの精神を育てるスポーツ、健康・体力づくりと食育を推進する
 - (1) 体力向上を主体的に目指す子どもの育成
 - (2) ちばの自然や恵みを生かした食育の推進
 - (3) 「みるスポーツ」・「するスポーツ」の推進
 - (4) 人々に夢と感動を与える競技力の向上
- 6 一人一人の特性に目を向けた特別支援教育を推進する
 - (1) 特別支援学校の児童生徒数増加への対応
 - (2) キャリア教育と後期中等教育の充実
 - (3) 適切な教育支援に向けての支援体制の充実
 - (4) 特別支援教育に関する教員の専門性の向上
 - (5) 地域の幼児児童生徒とともに学ぶ機会の充実
 - (6) 医療的ケアの実施体制の充実
- 7 豊かな学びを支える学校づくり
 - (1) 魅力ある高等学校づくり
 - (2) 私立学校の振興
 - (3) 地域に開かれた県立学校の促進
- 8 安全・安心な教育環境の整備
 - (1) 校舎等の耐震化・リニューアル、バリアフリーの促進
 - (2) 自助・共助の防災意識を高める防災教育と安全教育の推進
 - (3) 子どもの健康を守る学校保健の充実

III 教育の原点としての家庭の教育力を高め、人づくりのために力をつなげる『チームスピリットプロジェクト』

- 1 「親学」の導入など、家庭教育を支援する
 - (1) 家庭教育への支援
 - (2) 幼児教育の充実
 - (3) 学校・地域における家庭教育の普及
 - (4) 思春期の児童生徒や家庭への支援
 - (5) 親となつてかけがえない子育てを行うための教育の推進
- 2 学校教育と社会教育、国公立教育と私学教育、産・学・官、公と民などのネットワークを構築する
 - (1) 地域の力を結集した地域教育力の向上
 - (2) 産・学・官の連携強化による子どもの自立への支援
 - (3) 社会教育機能の連携強化など、生涯学習社会を目指した取組の支援
 - (4) 高等教育機関との連携
 - (5) 県教育委員会と市町村、私学等との連携強化
- 3 様々な困難を抱えている子どもとその家族を支援する取組を強化し、教育のセーフティネットを確保する
 - (1) いじめや不登校に対する相談体制の充実
 - (2) 障害のある幼児児童生徒とその保護者に対する、早期からの教育相談支援の充実
 - (3) 家庭や生活に様々な困難を抱えている子どもたちへの対応
 - (4) 保護が必要な児童対策の充実・強化

I 志を持ち、失敗を恐れずチャレンジする人材を育てる『夢・チャレンジプロジェクト』

- 1 社会を生き抜く力を育む主体的な学びの確立
 - (1) 読書活動や体験活動を通じた学習意欲の向上
 - (2) 子どもたちの主体的な学びを支える取組の充実
 - (3) 授業力の向上による学びの深化
 - (4) 学力向上に係る取組の適切な評価・改善の推進
- 2 道徳性を高める実践的人間教育の推進
 - (1) 「豊かな心」を育む千葉ならではの道徳教育の展開
 - (2) 社会の一員として必要な力を育む教育の推進
 - (3) 豊かな人間性を育む体験活動の推進
 - (4) 自他ともに尊重し命を大切にす心の教育の推進
- 3 生きる力の基本となる健康・体力づくりの推進
 - (1) 体力向上を主体的に目指す子どもの育成
 - (2) 子どもの健康を守る学校保健の充実
 - (3) 食を通じた健康づくりの推進
- 4 社会的・職業的に自立し地域で活躍する人材の育成
 - (1) 系統的なキャリア教育の推進
 - (2) 地域を支える人材の育成
 - (3) 企業や大学・研究機関等との連携による職場体験等の充実
 - (4) 子どもや若者の社会参加の促進
- 5 郷土と国を愛する心と世界を舞台に活躍する能力の育成
 - (1) 郷土と国の歴史や伝統文化等について学ぶ教育の推進
 - (2) 多様な文化を認め合う国際社会の担い手の育成
 - (3) 外国語教育の充実
 - (4) 外国人児童生徒等の受入れ体制の整備

II ちばのポテンシャル(潜在能力)を生かした教育立県の土台づくり『元氣プロジェクト』

- 1 人間形成の場としての活力ある学校づくり
 - (1) 魅力ある高等学校づくり
 - (2) 私立学校の振興
 - (3) 公立学校と私立学校の連携の推進
 - (4) 地域に開かれた魅力ある学校づくり
 - (5) 豊かな学びを支える学校・学習環境づくり
- 2 教育現場の重視と教員の質・教育力の向上
 - (1) 熱意あふれる人間性豊かな教員の採用
 - (2) 信頼される質の高い教員の育成
 - (3) 子どもの多様化に対応したきめ細かい教育の推進
 - (4) 教職員の負担軽減と学校問題解決のための支援
- 3 いじめ防止対策の推進
 - (1) いじめの予防や早期発見のための取組の推進
 - (2) いじめの防止等のための人材の確保と資質の向上
 - (3) いじめの防止等のための啓発活動の推進
 - (4) インターネットを通じて行われるいじめへの対策の推進
- 4 人格形成の基礎を培う幼児教育の充実
 - (1) 教職員の専門性の向上をはじめとした幼児教育の質の向上
 - (2) 小学校就学前教育から初等教育への円滑な接続
- 5 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進
 - (1) 早期からの教育相談と支援体制の充実
 - (2) 連続性のある多様な学びの場と支援の充実
 - (3) 特別支援学校の整備と機能の充実
 - (4) 卒業後の豊かな生活に向けた支援の充実
 - (5) 特別支援教育に関する教員の専門性の向上
- 6 読書県「ちば」の推進
 - (1) 家庭や地域における子どもの読書活動の支援
 - (2) 学校等における読書活動の推進
 - (3) 図書館における読書活動の充実
- 7 フェアプレーの精神を育て、楽しさや感動を分かち合うスポーツの推進
 - (1) 「するスポーツ」・「みるスポーツ」・「ささえるスポーツ」の推進
 - (2) 人々に夢と感動を与える競技力の向上
- 8 ちば文化の継承と新たな創造
 - (1) 文化にふれ親しむ環境づくり
 - (2) 文化財の保存・継承
- 9 安全・安心な学びの場づくりの推進
 - (1) 校舎等の計画的な整備、バリアフリー化の促進
 - (2) 東日本大震災を教訓とした防災教育と安全教育の推進

III 教育の原点としての家庭の教育力を高め、人づくりのために力をつなげる『チームスピリットプロジェクト』

- 1 親の学びと家庭教育への支援
 - (1) 教育の土台となる家庭教育への支援
 - (2) 学校と地域が連携した家庭教育の推進
 - (3) 親となつてかけがえない子育てを行うための教育の推進
- 2 つながりや支え合いによる地域コミュニティの形成と生涯学習社会の実現
 - (1) 学校を核とした地域コミュニティの構築と子どもの学びへの支援
 - (2) 生涯学習社会を目指した取組の推進
 - (3) 社会教育推進体制の強化
 - (4) 高等教育機関との連携
 - (5) 県教育委員会と市町村、私学等との連携強化
- 3 学びのセーフティネットの構築
 - (1) 子どもや家庭に対する相談支援体制の充実
 - (2) 学び直しなどの再チャレンジに対する支援の充実
 - (3) 経済的・家庭的理由など様々な困難への支援
 - (4) 虐待など不適切な養育から子どもを守る取組の充実・強化